地方創生に関するアンケート結果報告書

【調査目的】
　この調査は、令和７年度からスタートする「琴浦町デジタル田園都市国家構想総合戦略（仮称）」を策定するにあたり実施しました。
　少子高齢化による人口減少が進む中、琴浦町が元気であり続けるためにはどんなことが必要なのか、町民の皆さんの意見を参考とするものです。

【実施期間】　令和６年５月３１日～６月３０日

【対象者】　１６歳以上の町民（無作為抽出）２，０００人

【実施方法】　郵送及びＷｅｂ

【回答率】　２４．３％（回答者４８６人：郵送３５６人、Ｗｅｂ１３０人）

このアンケート結果について次のとおり報告します。

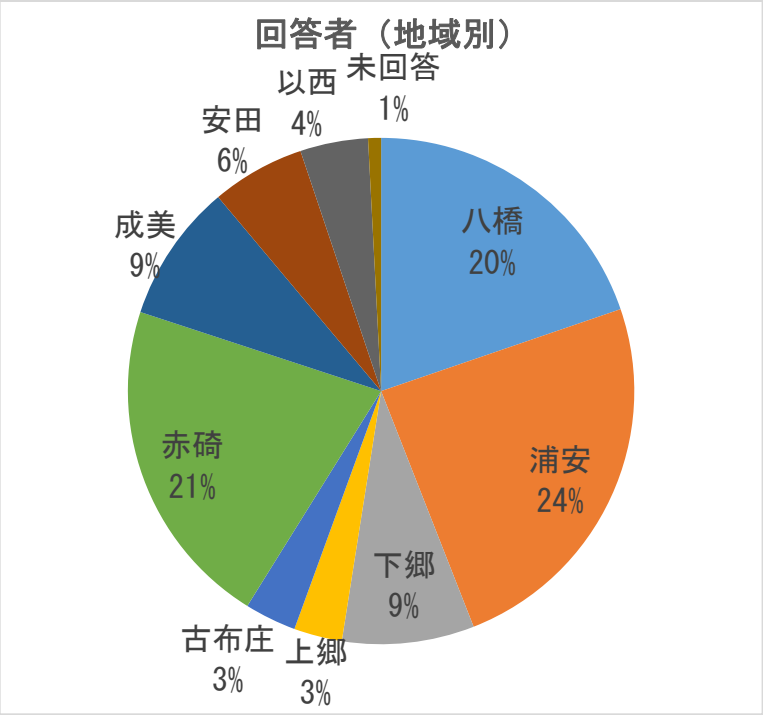
【問合せ先】琴浦町企画政策課
電話番号　（0858）52-1708
ファックス　（0858）49-0000
メール　kikaku@town.kotoura.tottori.jp

集計結果

【問1】 回答者について

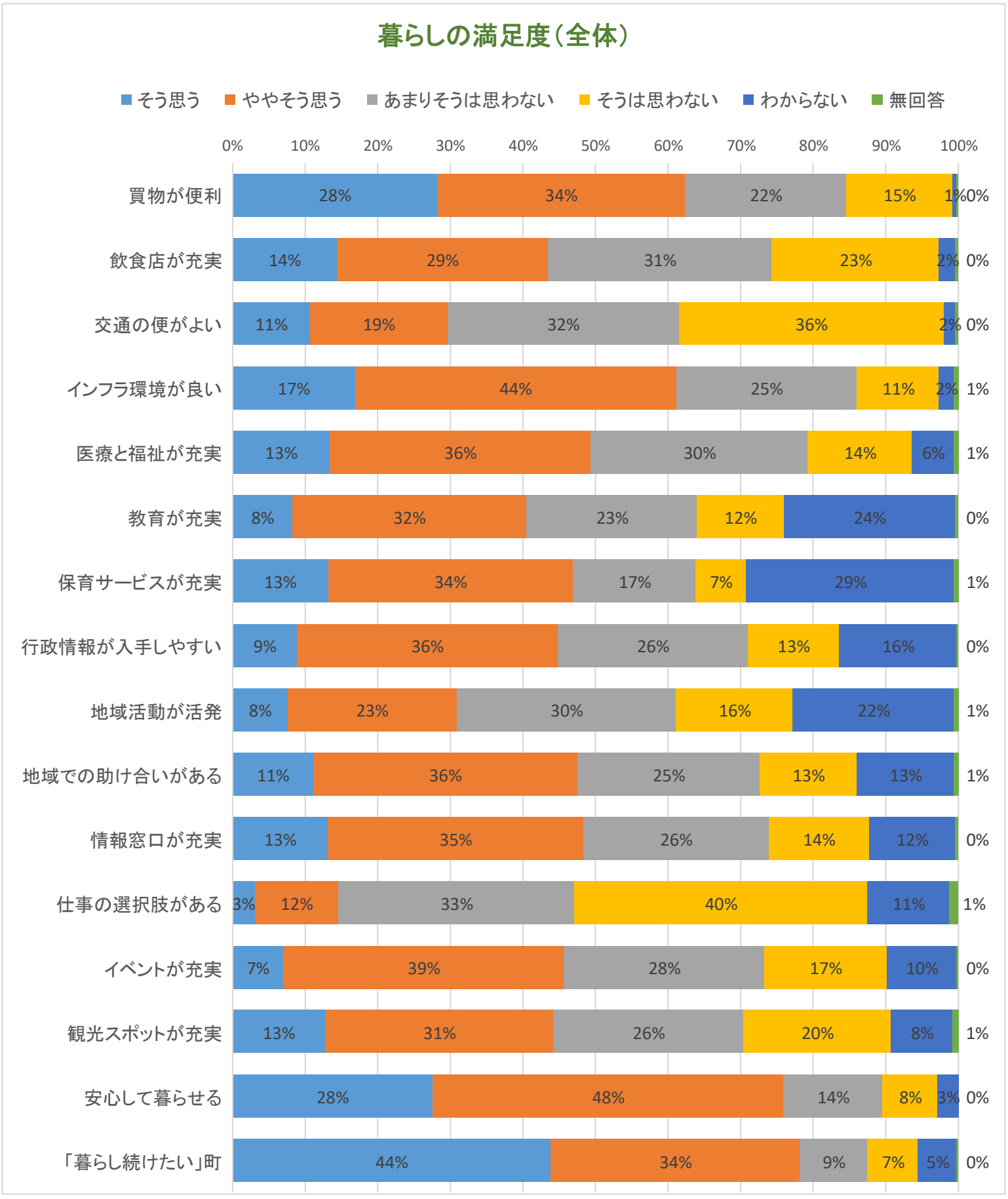
性別	回答者数
女性	258
男性	220
無回答	7
その他	1
合計	486

地区別	回答者数
八橋	96
浦安	118
下郷	41
上郷	15
古布庄	16
赤碕	103
成美	43
安田	29
以西	21
無回答	4
合計	486



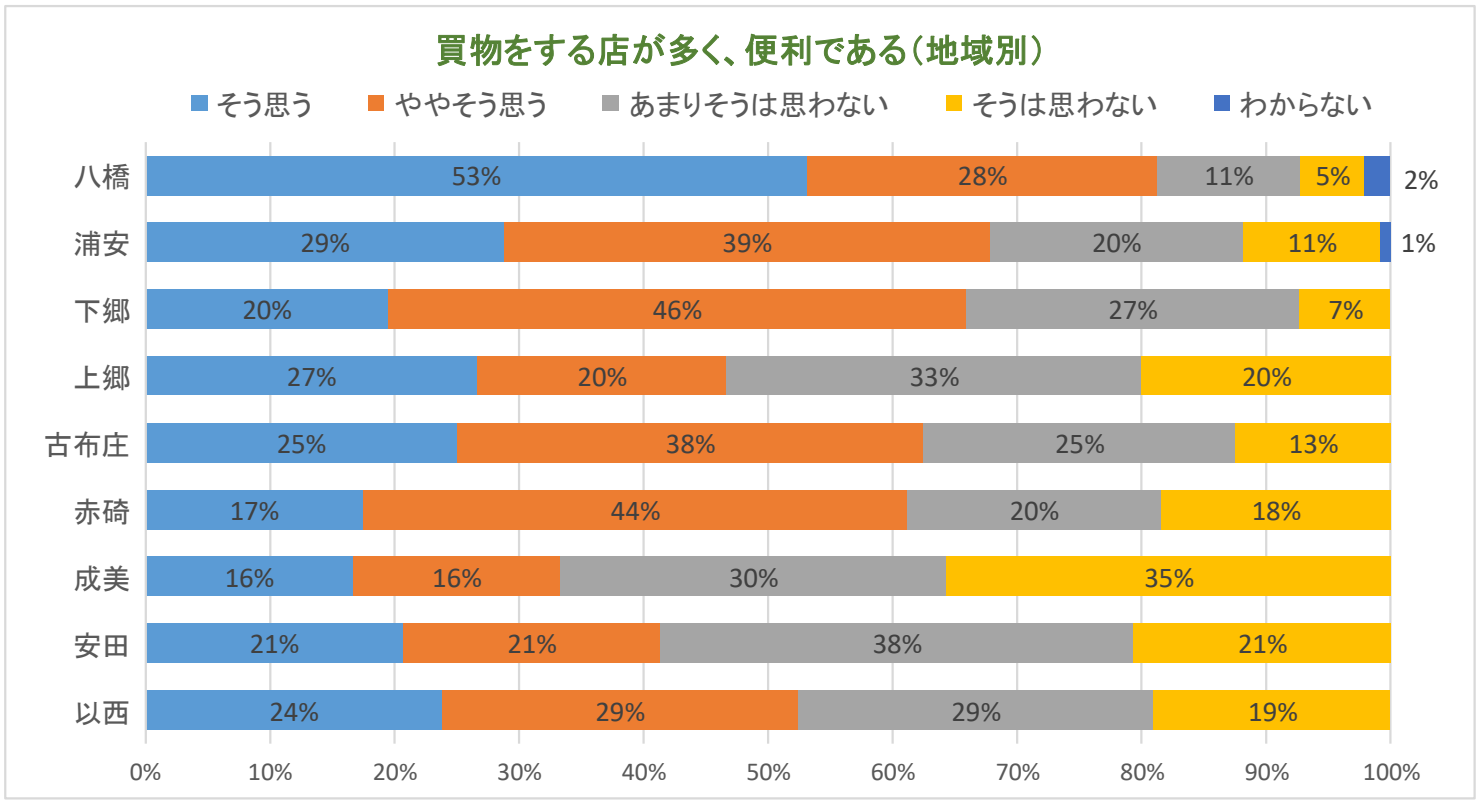
【問2】 琴浦町の暮らしについて

全体で見ると買い物の利便性、インフラ関係、暮らしの安心面などは比較的満足度が高い傾向にある一方、仕事の選択肢については極端に満足度が低くなっています。
回答者の78%が今後も琴浦町に住み続けたい意向がありました。



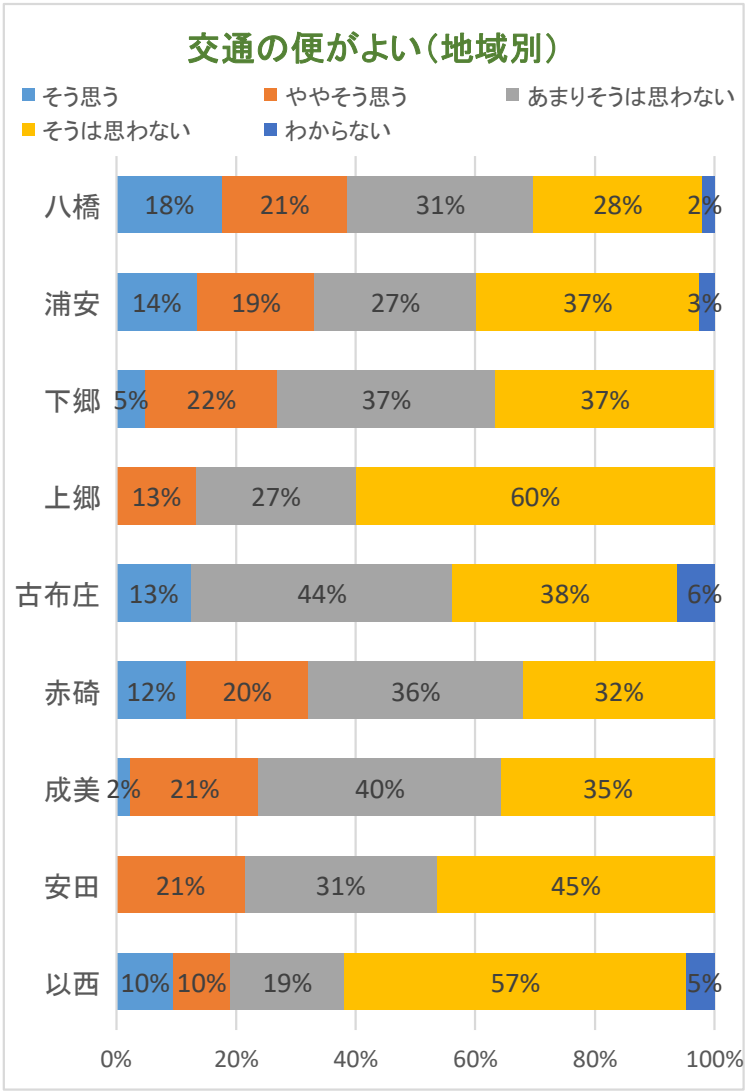
≪満足度：買い物≫

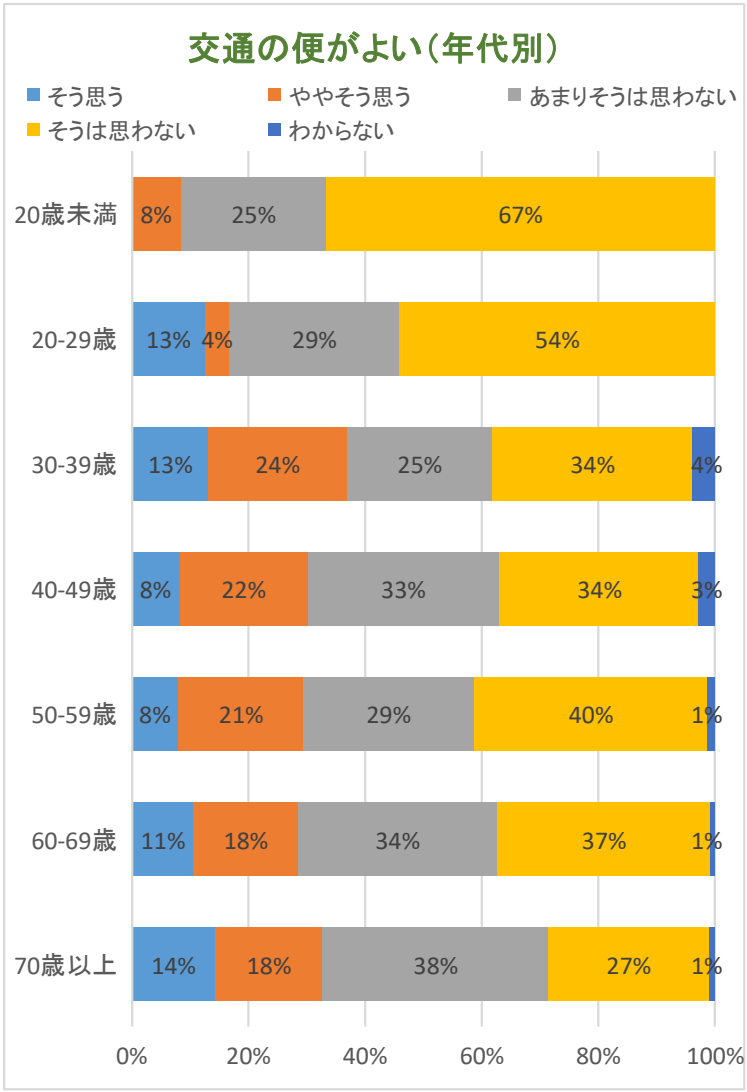
東伯地区では満足度が高く、赤碕地区では比較的低い満足度となっています。



≪満足度：交通≫

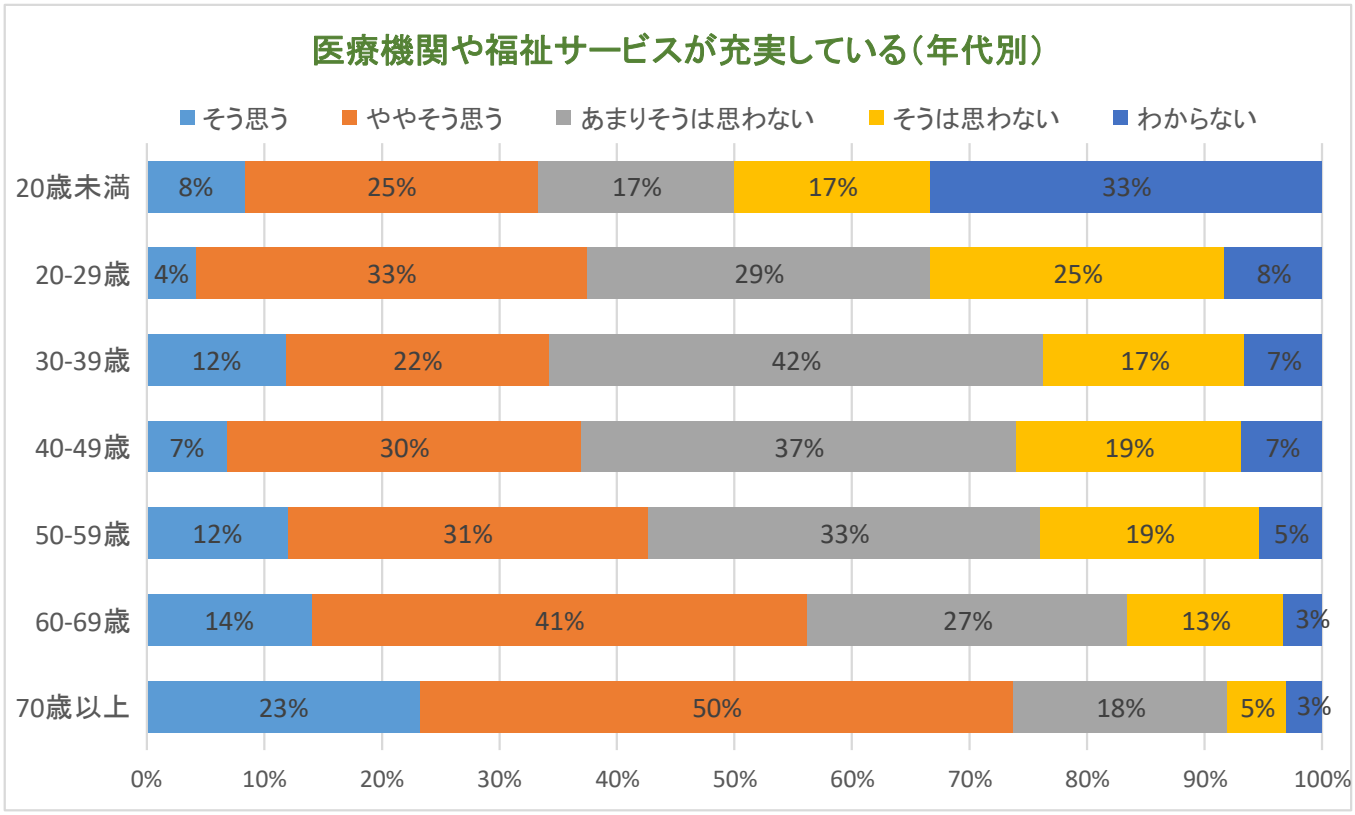
地域別に見ると、中山間地域ほど満足度が低くなっています。





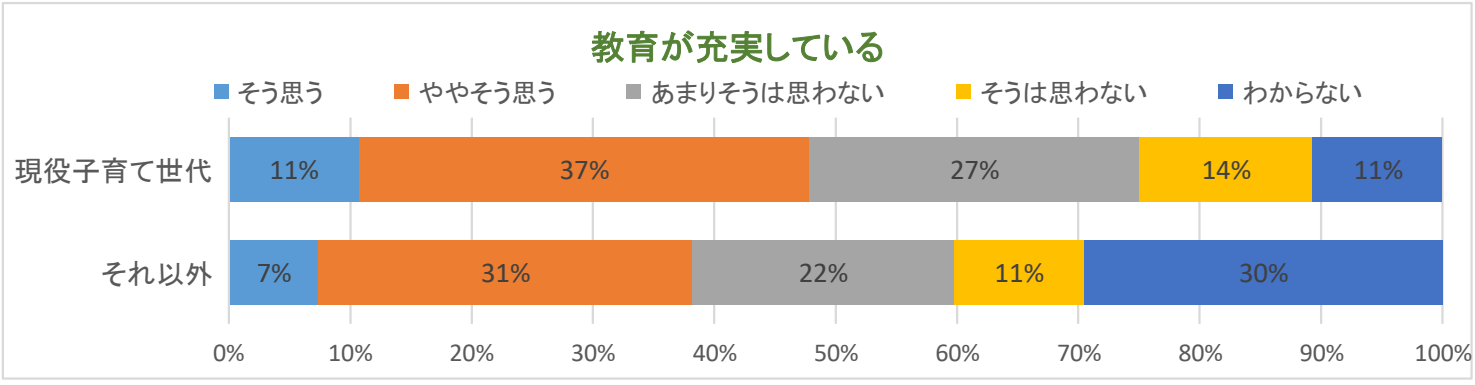
≪満足度：医療機関と福祉サービス≫

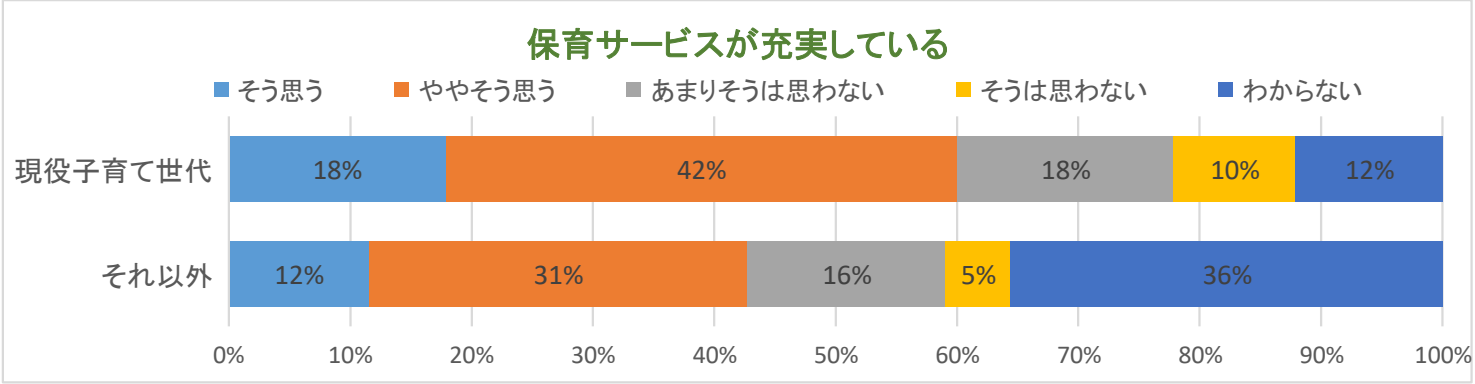
年齢が上がるほど満足度が高い傾向になっています。



≪満足度：教育・保育≫

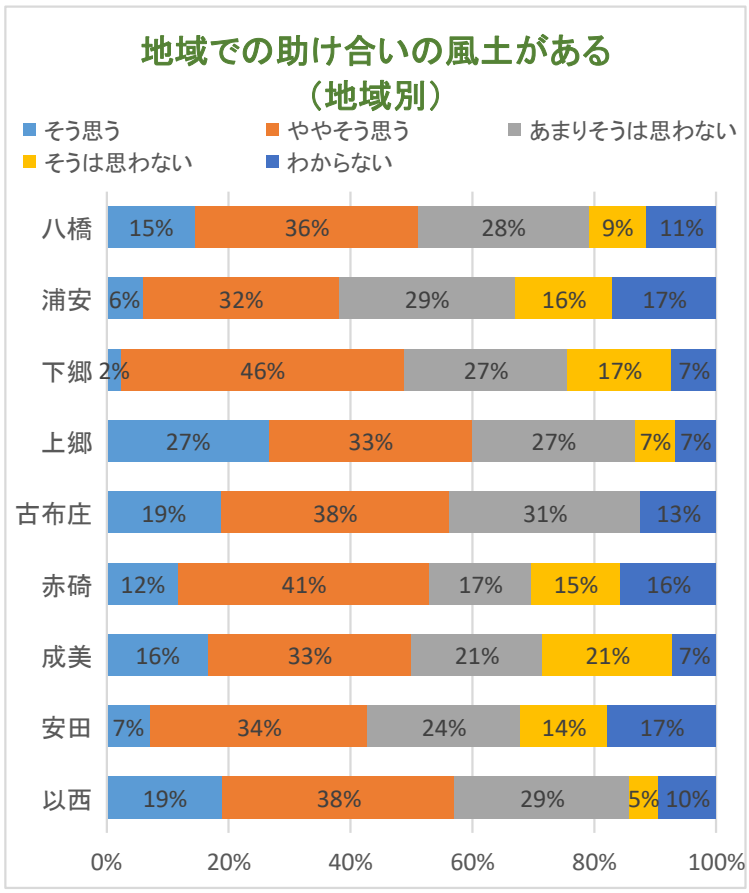
現役子育て世代の満足度は高く、それ以外の満足度が低くなっています。また、それ以外の「わからない」割合が高くなっています。

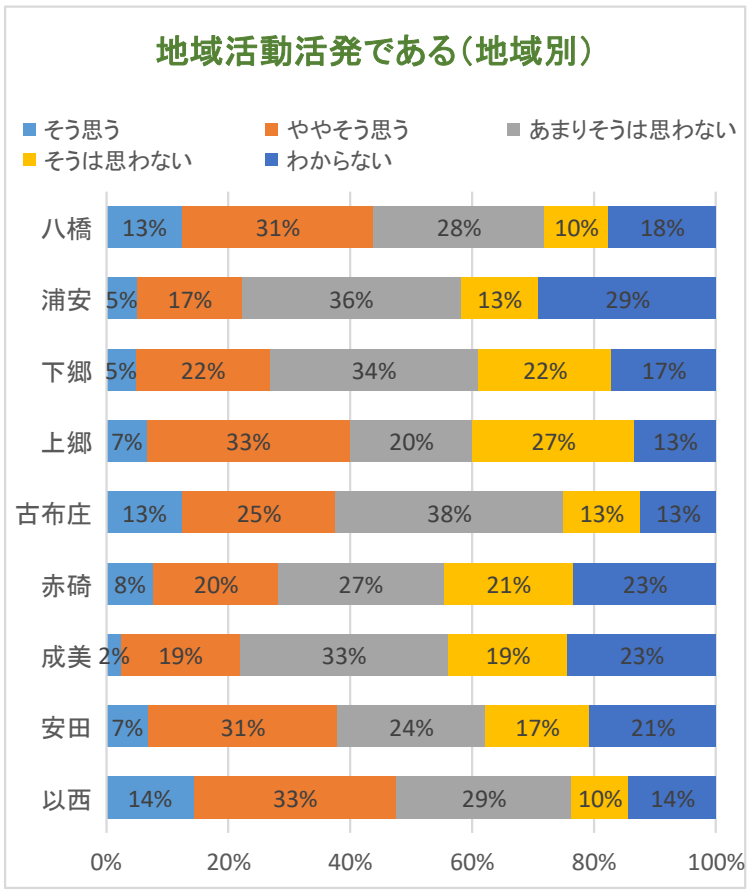




≪問2　満足度：地域の助け合い・地域活動≫

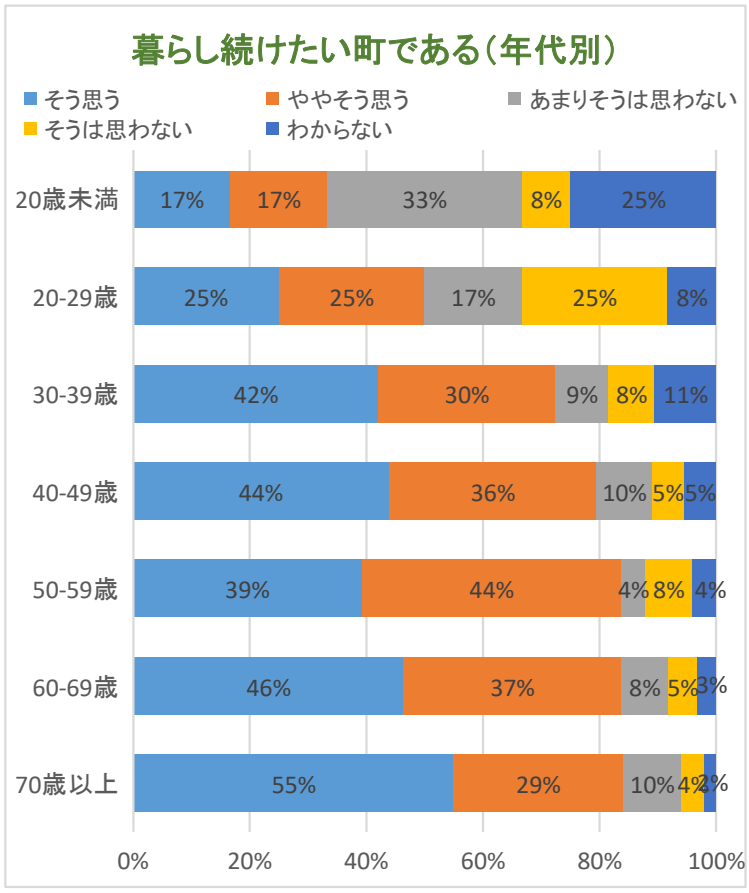
全体的に見て、半数が助け合いの風土があると答えた一方、地域活動についてはそれほど活発と思われていません。

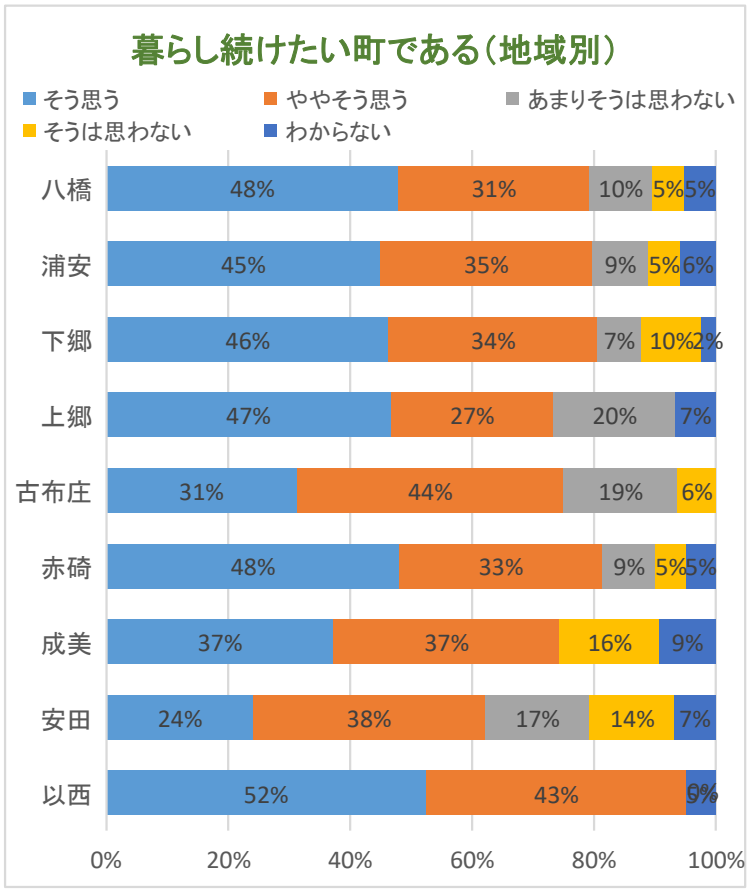




≪問2　満足度：暮らし続けたい町≫

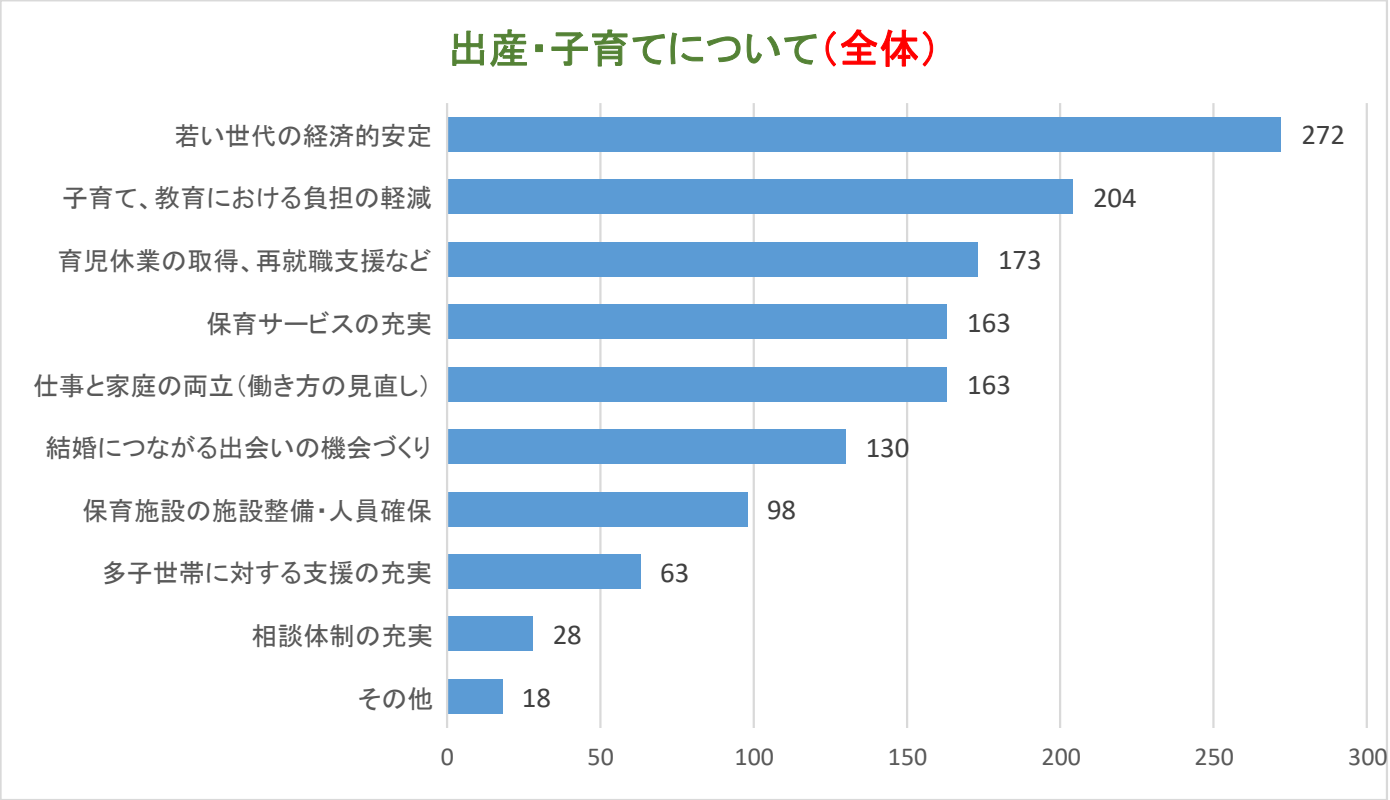
年齢が上がるにつれて地域への愛着が生まれているのがわかりますが、これからの町を担う若者の満足度が低い傾向になっています。

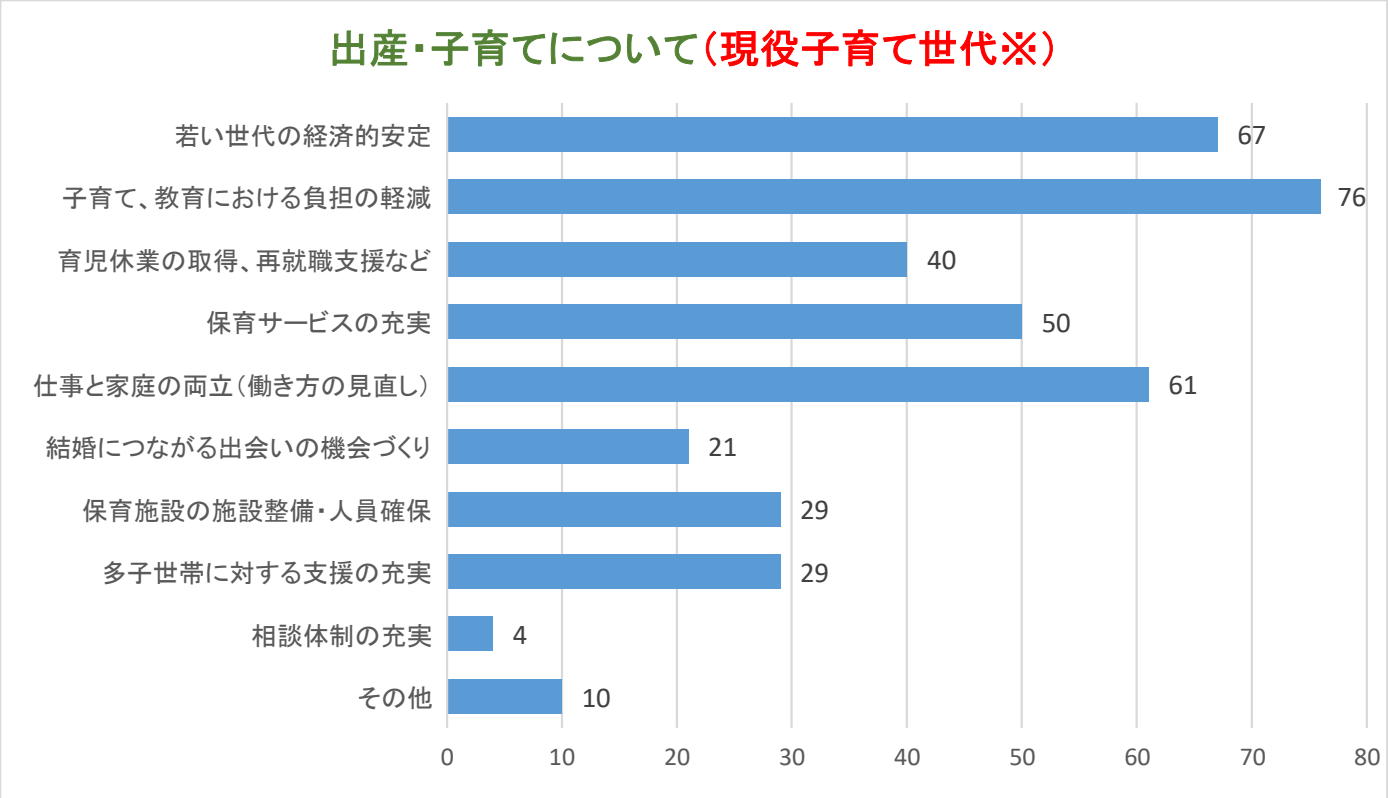




【問3】 出産・子育ての希望をかなえるため、今後どのような取り組みに力を入れるべきと考えますか。

全般的に若い世代の経済的安定と負担軽減が求められています。その他、現役子育て世代は仕事と家庭の両立や保育サービスの充実などに対する支援が必要とされています。

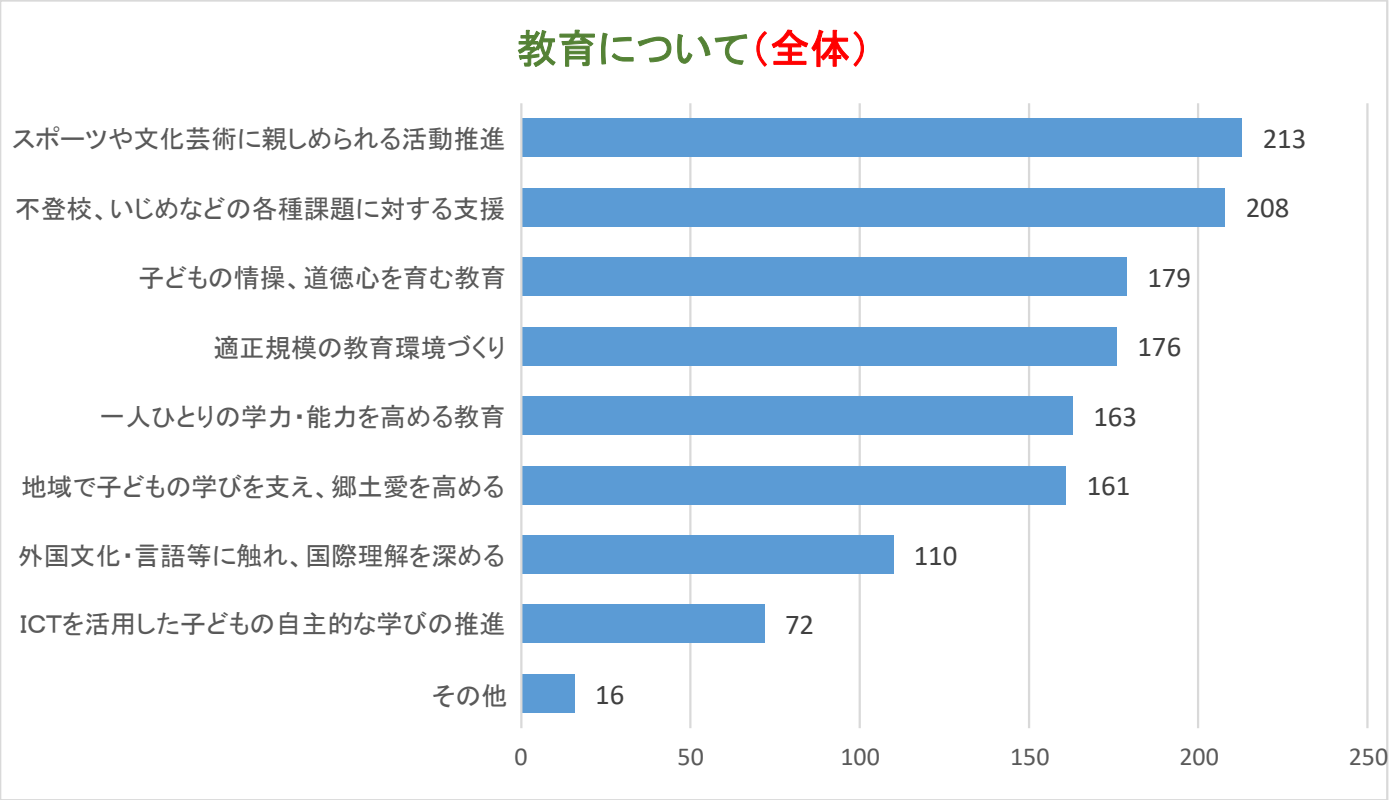


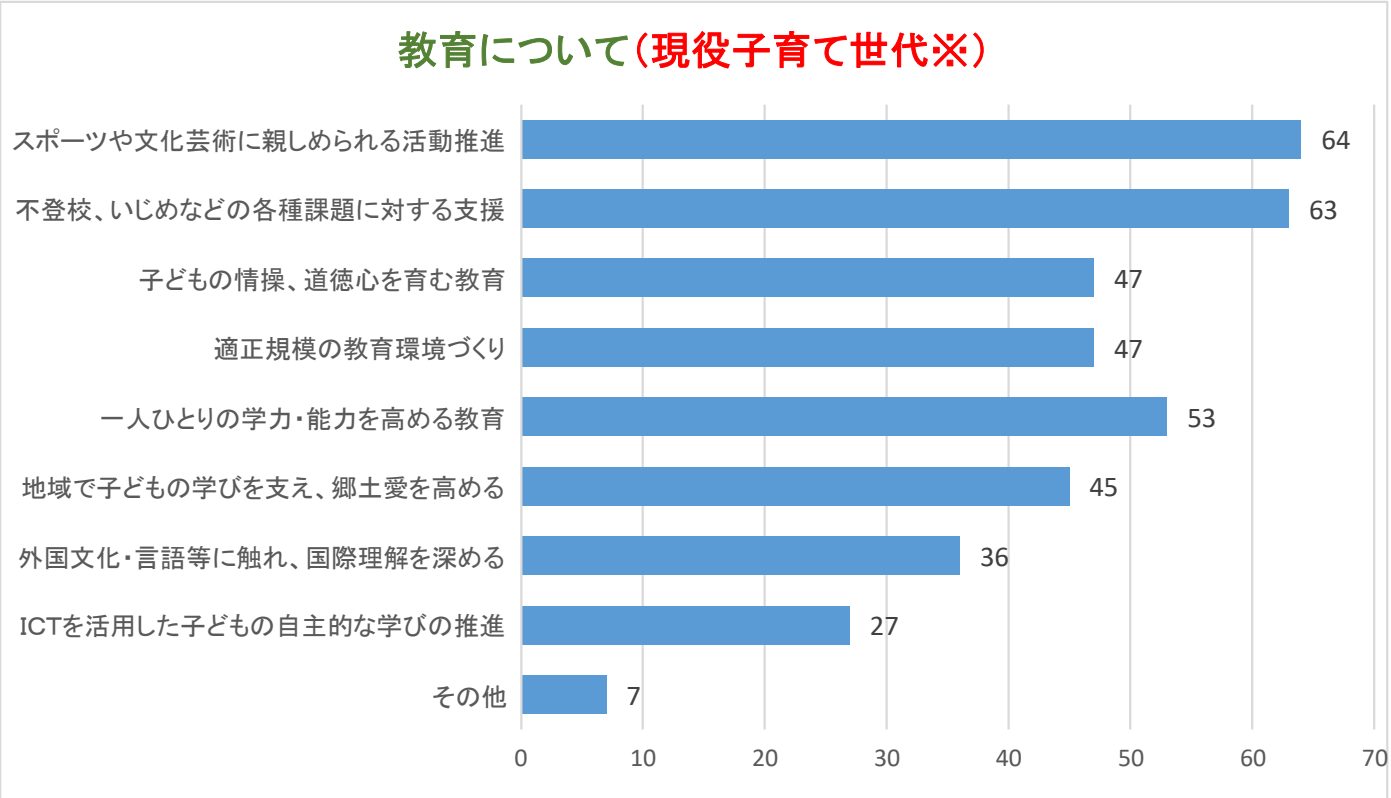


（※）現在、18歳未満の子どもを養育している人

【問4】 子どもたちの教育のため、今後どのような取り組みに力を入れるべきと考えますか。

スポーツ・文化芸術への活動推進及び不登校やいじめといった個別対策の優先順位が高くなっています。現役子育て世代は学力・能力を高める教育への取組を必要とされています。

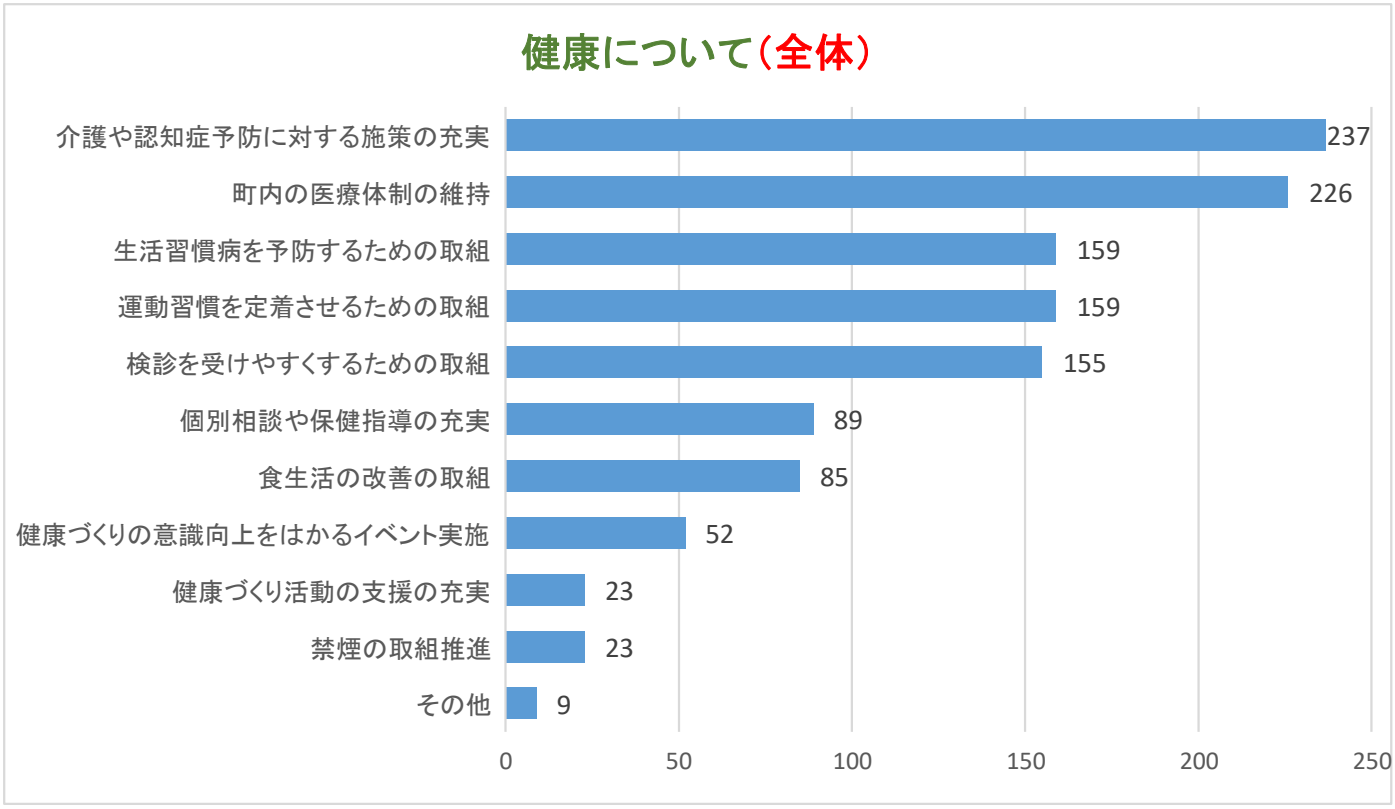


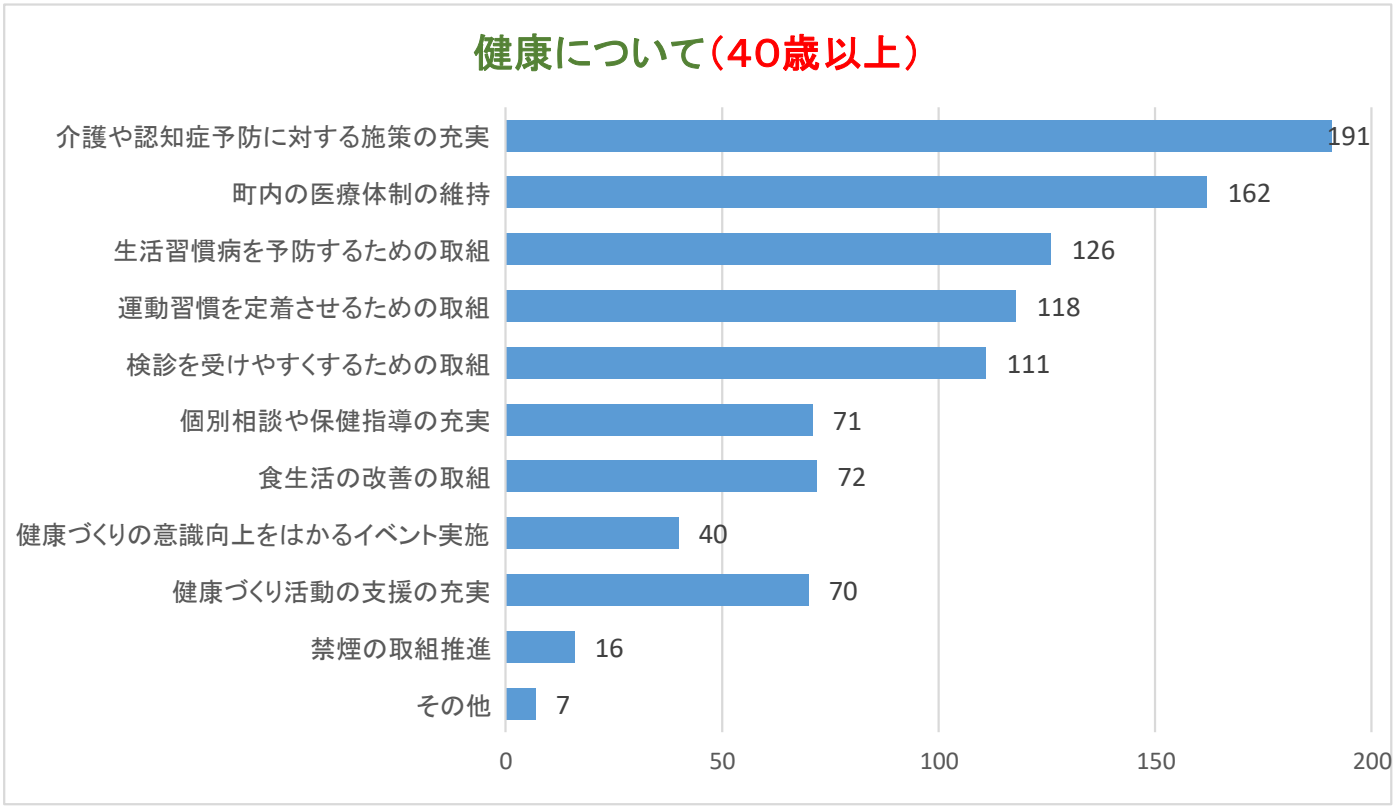


（※）現在、18歳未満の子どもを養育している人

【問5】 健康に暮らし続けていくため、今後どのような取り組みに力を入れるべきと考えますか。

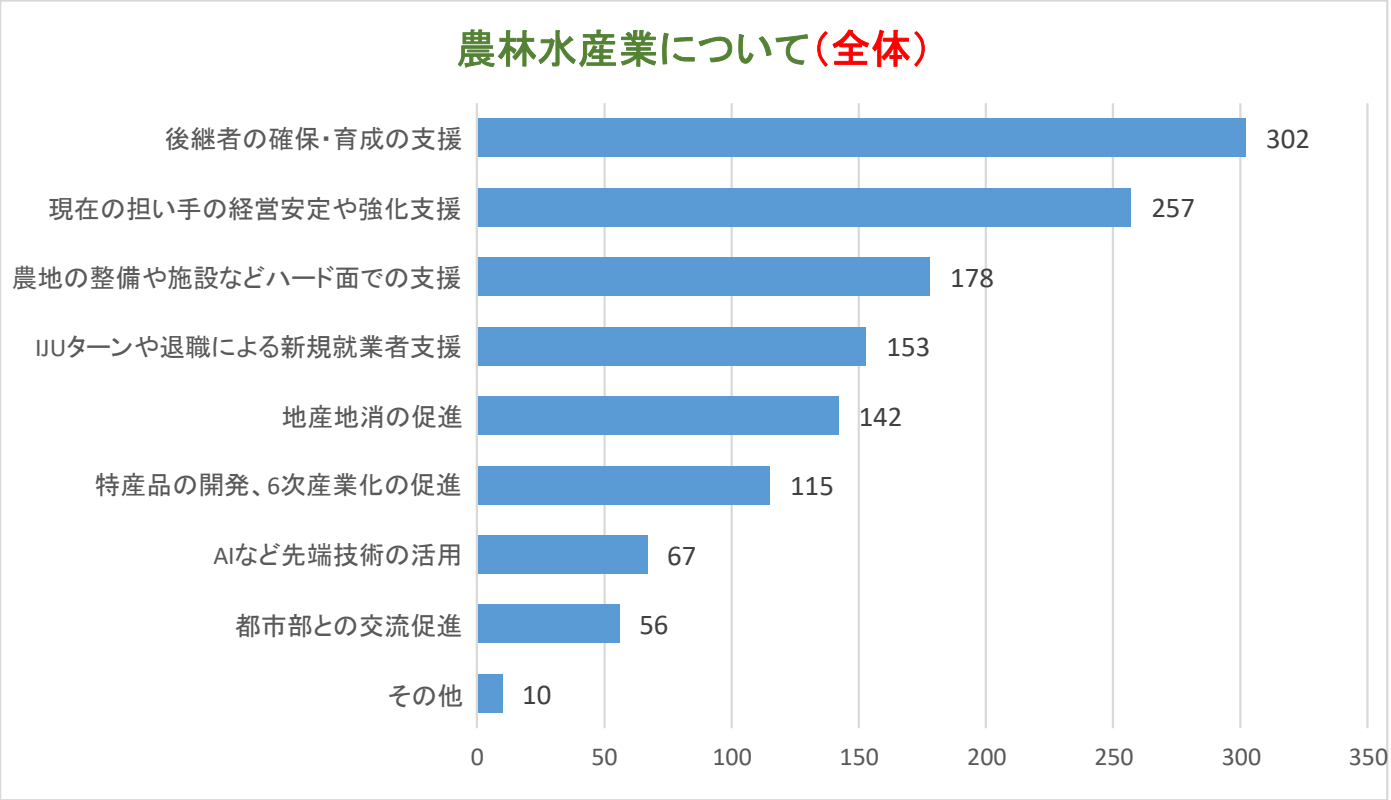
高齢化社会が進む中、介護や認知症予防、医療に関する関心が高くなっています。
一方、予防に直結する食生活や健康づくりなどは関心が低くなっています。

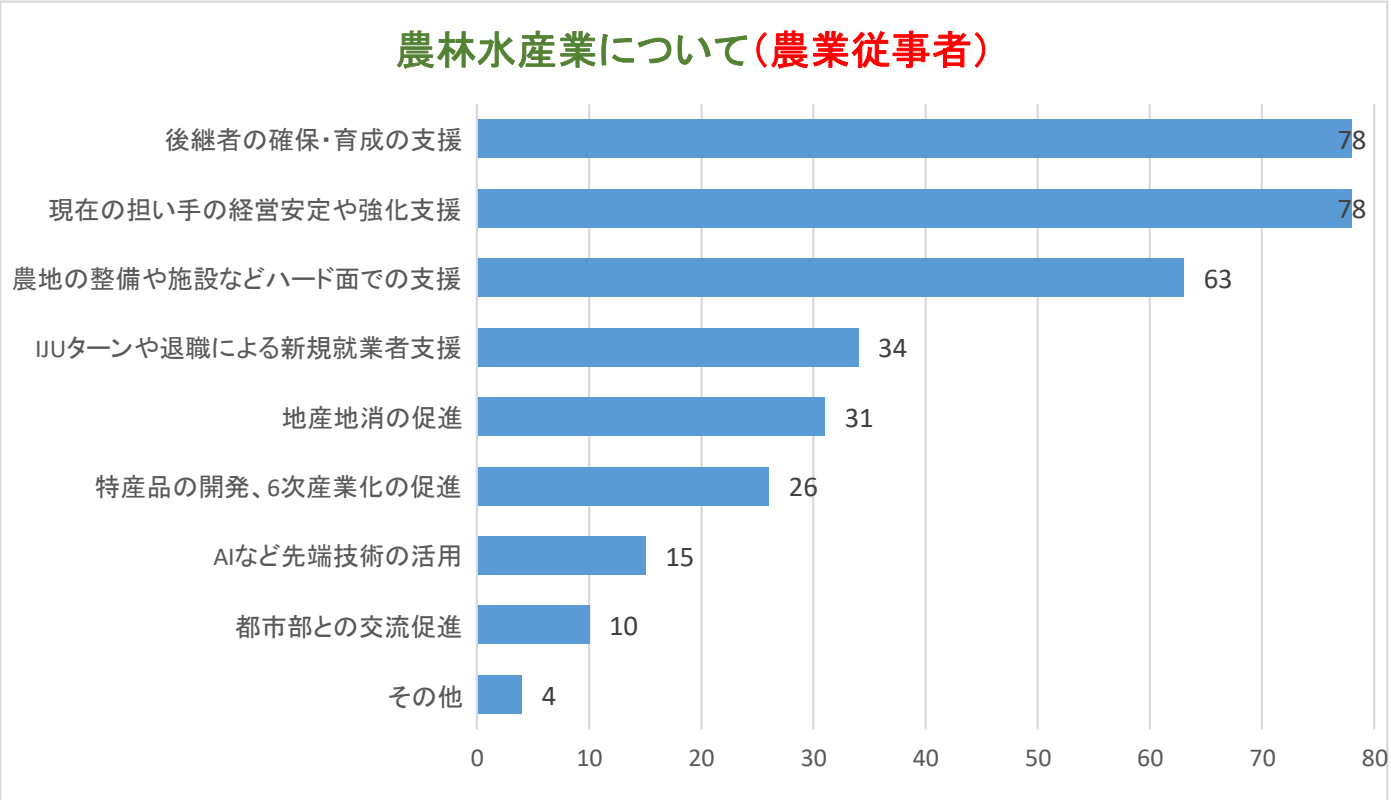




【問6】 農林水産業・商工業について（農林水産業）
農林水産業を振興するため、今後どのような取り組みに力を入れるべきと考えますか。

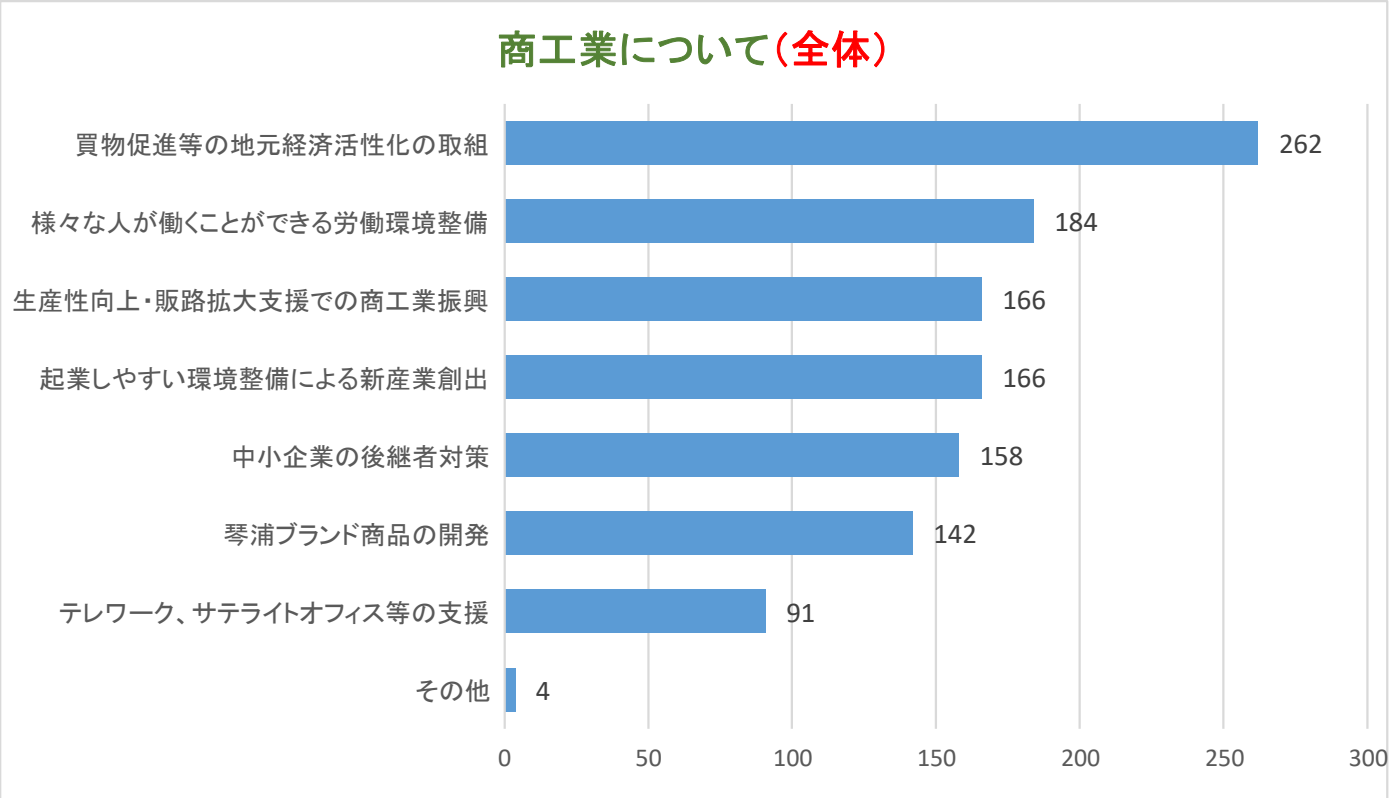
≪農林水産業≫
後継者の確保、現在の担い手の経営安定及びハード面での支援が必要という結果になっています。一方、AIなどの先端技術活用や都市部との交流促進への支援への必要性は低い結果となりました。





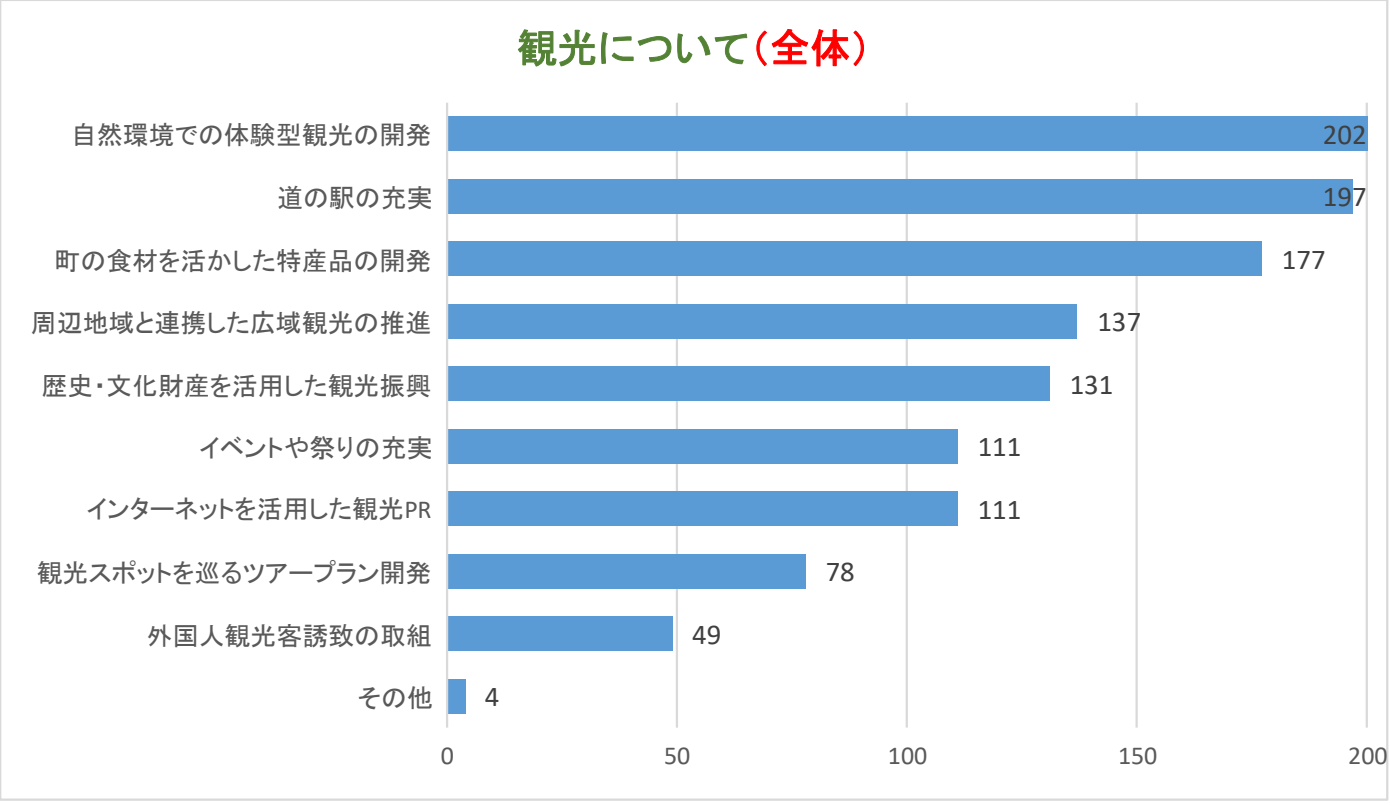
【問6】 農林水産業・商工業について（商工業）
町の商工業を振興するため、今後どのような取り組みに力を入れるべきと考えますか。

≪商工業≫
地元経済活性化の取組が必要とされています。また、県内の町・村の中で最も事業所が多い町ですが、働くことができる労働環境整備が必要という意見が多くありました。



【問7】 町の観光を振興するため、今後どのような取り組みに力を入れるべきと考えますか。

自然環境での体験型観光の開発と道の駅の充実が最も必要とされています。道の駅の充実、特産品の開発、広域観光の推進及び歴史的・文化財産を活用した観光支援も関心の高い項目となりました。



【問8】 デジタル活用について
デジタル技術を活用して、さらに便利になってほしいまちの中のサービスや取り組みはありますか。

順位	項　目	主な意見
1位	役場関連	・行政手続のオンライン化（土日利用含め） ・オンラインによる問合せ・相談対応 ・公共施設等のweb予約化
2位	交通機関	・駅へ自動改札の導入 ・交通手段がない人を支援するための交通環境整備（無人乗用車、バス・タクシーの交通ネットワーク等）
3位	高齢者関連	・デジタル活用のための講習会の開催
ー	その他	・町公式SNSを活用し、町内外へのPRを強化 ・防災関連情報に関して住民に早期に周知するシステム構築 ・フリーWi-Fiの充実（設置） ・医療機関等のweb予約化

【問9】 コロナ禍の影響について

●コロナ禍を通して、あなたが日常的に生活を送る中で、より重要に思うようになったことや出来事はありますか。

順位	項　目	主な意見
1位	地域での取組	・コロナ禍により、地域でのイベント等がなくなり、地域住民の関係が希薄になった ・コロナ前までの地域活動に戻すべき（戻せなくとも、ある程度の必要な地域活動は行うべき） ・活動が減ることによる地域の衰退が高齢化へつながる可能性がある ・コロナ禍により自治会活動の見直しなど良い面もあった
2位	人間関係	・人と人との繋がりの重要性・必要性を感じた ・対面でコミュニケーションを取ることの重要性・必要性を感じた
3位	健康、感染対策	・健康・健康管理の大切さを感じた ・マスクや手洗いうがいなどの感染対策の大切さを感じた
ー	その他	・テイクアウトやインターネットで買い物する機会が増え、便利になった ・正しい情報を得ることの重要性と難しさを感じた ・医療機関の充実が生活の安心感につながる

●コロナ前後で、自治会活動が変化したことはありますか。また、自治会活動が今後どうあるべきだと思いますか。

順位	主な意見
20歳未満～29歳	・活動を縮小すべき、減少して良かった ・どの年代も参加できる活動があれば自治会活動も長続きする
30～49歳	・活動が減り、良い面もあったので、不必要な活動を精査すべき ・地域の繋がり、安心安全の暮らしを考慮すると自治会活動は継続・促進すべき
50～69歳	・必要の無い活動をなくして、無理のない範囲で活動すべき ・高齢化や人手不足により活動が縮小しており、若者が参加する活動を検討すべき
70歳以上	・地域の交流を充実させ、活性化させるためには従来どおりの活動が必要 ・自治会活動が減り、関係が希薄になっているので、地域が盛り上がる新たな活動を模索すべき

【問10】 琴浦町の将来展望や新たなニーズについて

●琴浦町の自慢を『1つ』挙げるとしたら何だと思いますか。

順位	項　目	主な意見
1位	自然（海、山など）	海と山がある（自然豊か、近い）、船上山（歴史含む）
2位	食べ物（特産品含む）	海・山の幸に恵まれている、牛骨ラーメン、農産品
3位	住みやすさ	住みよい、ほどよい田舎、静か・のどか、町内で日常生活が完結できる
―	その他	買物・病院・運動施設が充実している、人が良い・優しい

●琴浦町のこれからのまちづくりについて、ご意見等がありましたらお聞かせください。（自由記載）

≪多かった意見ベスト3≫
①若者や移住者が住みよい町づくり（仕事場、遊び場など）
②観光地等の充実
③子ども・子育て環境の充実

以下、自由意見は次のとおりです。

（若者・移住者関係）
・仕事先の確保（仕事の選択肢がない、若者向け企業の誘致）
・住みたくなるようなまちづくり、IJUターンができるまちづくりとPR
・空き家を活用した受入
・若者が興味を持つ仕事、施設、イベントを企画（若者の流出防止）
・若者の意見を聞く、聞ける場・機会を設ける
・若者の意見を地域活動や町づくりに反映させる

（観光関係）
・自然（海や山）や田舎を活かした体験プログラムを作る
・自然（海や山）を活かした体験型施設（宿泊施設含む）を作る又は充実させる
・新たな特産品の開発（企業とのコラボ等）
・既存の施設（廃校、道の駅等）を活用したイベントの実施
・レジャー施設の建設

（子育て関係）
・子どもが増えるような対策、多子世帯などの支援の充実
・子育て世帯への支援の充実（現金・物資支給）
・発達障がいの子ども支援や相談窓口の設置
・子連れで利用しやすい施設の充実（遊び場、飲食店、病院等）

その他
（全般）
・人口減少にあわせた施策（コンパクトシティ化（施策の精査含む））
・耕作放棄地や休有地を農地として活用
・病院（小児科、耳鼻科、皮膚科、眼科等）の充実
・高齢者（免許返納者含む）の移動手段の確保
・飲食店の充実
・行政職員の能力向上
・駅前の活性化

多くのご意見ありがとうございました。